

We Love インターネットで見つけたCOOL&FOOLが大集合 Internet People

このコーナーは、インターネットピープルの皆さんが作るページです。話題のインターネットピープル、こぼれ話、CU-SeeMe大会など、読者の皆さんの投稿と編集部が取材した旬の話題を提供します。投稿分にはダイレクトプラスが発行されます。ジャンジャン投稿して豪華賞品をGetしよう。 **Let's Access!!**

Gallery デジタルカメラ写真展

皆さんがデジタルカメラで撮影した「インターネットなもの」を展覽します。街で見かけたインターネットな「こじ付けネーミング」、「え、こんなところ(人、モノ)がインターネットを...」、「私のまわりのインターネットマン(?)」などなど、何でもOKです。

これぞ走るインターネット?!

27型インターネットAR3段
150cm以上の方に最適、色:シルバー・ブルー・シルバー・ブロンズ、さびない軽量・軽合リム仕様

300,000 プラス

16,800 円

300,000 プラス

つ、ついに。インターネット対応自転車! 私の調査では、どうやら前輪がルーターの役割をしているらしい(ウソ度100%)。(M.Tashiro)
自転車業界でも「低価格で高速」が売り文句だったりして...。(編集部)



300,000 プラス

これは車の後部ですが、「http」とはいいたい...。やはりこの後ろには「://www～」と続いているのでしょうか? こそと行ったので、夜間の撮影となっています。でも、こんな近所にインターネットのユーザーがいるかと思うと、なにか嬉しくなってしまう。(浦嶋憲明)

投稿大募集

あなたのまわりの「インターネットなもの」をデジタルカメラで撮影して、画像データをコメントとともに編集部までお送りください。画像形式はJPEG(推奨)、GIF、TIFのいずれかを使用して、データをメールに添付してお送りください(メール1通に画像は1つ)。また、撮影に使ったデジタルカメラの機種名も明記してください。

宛先は **ip-box@impress.co.jp**
投稿していただいた方には、もちろん高額ダイレクトプラスを発行します。詳しくは408ページをご覧ください。

Shouting!



今月の高座

佐藤和義さんの
「何とかしてよ〜!」

インターネットマガジンはどうしてこんなに重くて厚いのでしょうか。以前は毎号発売されると、すかさず買っていたのですが、最近はちょっと控えてしまいます。というのも、この手の

雑誌はたまってくると置き場所に困るし、捨てるのにも重くて大変です。紙質をもっと軽いものにしたりとかはできないのでしょうか?

佐藤さんがおっしゃるように、「最近のインターネットマガジンは重い」というお叱りを受けることが時折あります。現在インターネットマガジンでは、「ロイヤルコート64g/m²」という紙を使用していますが、少しでも軽く薄くするために、2か月後(6月号)に使用する紙を変える予定で

す。新しい紙を使うと約10%の減量になり、同じく約10%薄くなる予定です。また、紙質も柔らかくなり、手になじむやさしい質感になります。薄くて軽くなるインターネットマガジンを今後ともよろしくお願いします。(編集部)



Chatting!

声を聞かせて

先日、テレホーダイが使えるようになりました。これで安心してネットサーフィンできると思ったのですが、現実には仕事に疲れて帰ってきて11時まで眠いのを我慢し、もったいないから1時までがんばる。そして朝5時に起きて7時まで。1日4時間。最近では寝不足で体もだるくなってきました。朝の目覚めはコンピュータの自動立ち上げにしているのが5時になると起動音で起こされます。最初はこの「ジャン!」もよかったのですが、最近ではコンピュータに振り回されているような錯覚を起こします。

(大串春夫)



やったー! ついに独立! 楽しい送別会の翌日、会社からマイマシンを引きあげようとしていたら、昨日までの上司がこう言った。「TA貸し出すから、早くISDN引いてね。君のハードディスクにノーツ入れたいから」おいおい、

私やそういうのがイヤで会社辞めたんだよ(怒)!

(匿名希望)



ホームページに「赤いバラが好きです」と書いたらイギリスの植物学者から「太陽の神アポロンが王女に恋をし、口づけをせまったら、王女が真っ赤にはにかんで、一輪のバラに変わってしまい、赤いバラは女王のはにかんだ姿」しかも、バラは「イギリス国王の栄光の象徴」だというメールが届いた。バラというと、「美しいものにはトゲがある」くらいしか知らない私、教養のなさを実感!

(さとゆきえ)



いろいろな企業のホームページを見ていて気

づいたのですが、ホームページ上にメールアドレスが記載されていない企業が意外と多いですね。せっかくホームページを作成しても電子メールでの問い合わせが受け付けられないのであれば、効果も半減すると思うのですが...。本音は、とりあえずホームページを作っただけで、電子メールでの問い合わせの受け付けなんて面倒だからやらなくてもいいということなのでしょう。

(Mariko)



投稿大募集

Shouting!

- ・声を大にして言いたいこと
- ・に物申す!
- ・に質問

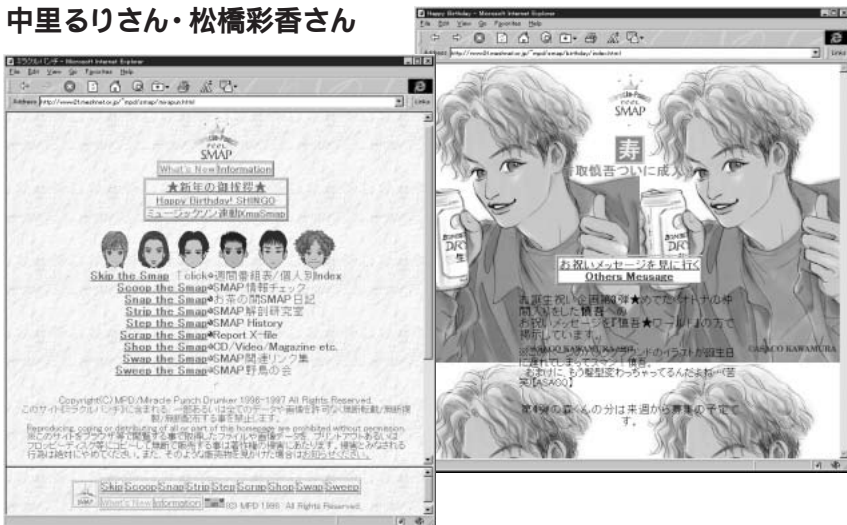
Chatting!

- ・あなたのインターネット体験記
- ・あなたのまわりで起こったできごと

宛先は ip-box@impress.co.jp
投稿文にはダイレクトプラスを発行します。詳しくは408ページをご覧ください。

SMAPファンのページ「ミラクルパンチ」の作者

中里るりさん・松橋彩香さん



今回はご本人の希望により、写真の掲載はありません。

Q：SMAPのページはどんなきっかけで始めたんですか？

中里：まわりに、SMAPのページを作っている友達とかがいて、ああいうホームページを作るのは面白そうだなという、ただそれだけだったんです。Macintoshは5年くらい使っていますが、インターネットは全然素人ですから、本でHTMLを勉強して作りました。イラストは知り合いに頼みました。（*イラストは川村麻子<ASACO>さん。個人ページもある。http://www2f.meshnet.or.jp/mpd/asaco/）

松橋：中里さんは学校のサークルの先輩で、たまたま2人ともSMAPが好きで、「ホームページやるから手伝わない、情報とか集まるよー」ってだまされて（笑）引きずり込まれたんです。

Q：それまで、パソコンやインターネットの経験はあったんですか？

松橋：私はバイトで使っていたから、パソコン歴は8年くらいあるんです。でも、それまではDOS/V機とかで、去年（96年）の夏にMacintoshを初めて買って、インターネットを始めたんです。インターネットに

「SMAP x SMAP」(* SMAP主演のパラエティ番組。月曜夜10時からフジテレビ系列で放送)のページがあるって聞いて、インターネットやりたいって思って。

中里：私も、ほとんどそれで始めたって感じですよ。SMAPファンで、あのページが見たくてインターネット始めたって人けっこう多いみたいですよ。

松橋：でも、始めたら、すぐ休止になっちゃったんですよね。4月に始まったけど、9月末には終わりになっちゃった。

中里：まず8月くらいに画像が全部なくなって。ダウンロードした画像とかを売っていた人がいたらしいんです。著作権を守るためにやむをえず休止したと聞きました。

Q：お二人はどんな分担でページを作っているんですか？

松橋：私はまだHTMLの書きかたとか勉強中なので、メールを読んで彼女に渡すのが基本です。それを中里さんがページに上げます。アクセス数は1日平均600~700で2月に入って7万アカウントを超えました。メールは1日30通から50通くらい。投票するページがあるので、そこに来るのがほと

この連載の担当編集者の錦戸は大のSMAPファンだ。実は、取材・執筆担当のライター鈴木も隠れSMAPファン。2人とも月曜日の「SMAP x SMAP」は欠かせない。今回、錦戸が面白いSMAPのページ「ミラクルパンチ」があるというので、さっそく取材をお願いすることにした。SMAPにハマって、インターネットにもハマったという中里るりさんと松橋彩香さんのお二人をご紹介します。

んどです。（*ミラクルパンチには、いろいろなテーマに沿って、自分の意見を書き込んでメールを送る「SMAP野鳥の会」というページがある。）

Q：「SMAP野鳥の会」のページはどんなところから思いついたんですか？

中里：思いつきで作ったんです。友達と電話で話しても、「今日のアレ見た？面白かったよね〜」とか話すじゃないですか。それがインターネットでできたら面白いかなと思って。項目を作って書き込んで送れるようにすれば、メールソフトがなくても楽にできるから、いいかなと思ったんです。

Q：SMAPのファンになったのはいつ頃からですか？

中里：私は、「夢がMORIMORI」(*92年4月~95年9月フジテレビ系で放送)あたりからですね。あの頃は、SMAPというはまだマニアックだったんです（笑）

松橋：私は、中居(正広)君とか(香取)慎吾とか(草なぎ)剛が「笑っていいとも!」(*94年4月より出演)に出るようになってからです。元々ドラマは見ない人なんで、

「笑っていいとも！」の香取慎吾を見て、この人はなんてかわいんだらうと思って、同じ歳くらいかと思っていたんだけど、歳を聞いたら若いのでびっくりしました。中里：やっと20歳だからね。

Q：お二人は誰のファンですか？

中里：私は上2人。(中居・木村)
松橋：私は森且行。いなくなっちゃいましたけど(*森且行は96年5月に芸能界を引退し、オートレース選手に転身)。でも、所属も決まったし、走行練習も始まったみたいですよ。(練習中の事故で骨折して入院していた)

Q：そういうふうに、情報が早いのですよねと思ってるんですけど。

中里：そうでもないですよ。友達のほうがよっぽど早くて、メールとか電話で教えてもらっています。それに比べると私たちはあまり熱心じゃないし、けっこうぼろで見落としもいっぱいあります。

松橋：情報集めに関しては人に頼っていますね。

Q：SMAPにハマったのは、何が一番の原因だと思いますか？

松橋：SMAPって、性格的には全くアイドルとは思えないじゃないですか？でも存在としてはアイドルということが今までにはない。

中里：それまでのアイドルはここまでかやらないというのを、踏み越えて徹底的にやっていたのが面白いと思いました。

Q：男性のファンも多いそうですね。

松橋：全員がおじさんキラーのところありますよね。年上の男の人に惚れ込まれるみたいな。

中里：ぱっと見て「何だあいつら」っていう最初のイメージと違って、「話してることを聞いたら意外といいじゃないか」というので、男の人でもファンになっちゃうん

じゃないですか。

Q：SMAPの話をするときないと思いますけど、ホームページの作成にはどのくらいわかりましたか。

中里：作りたいなと思ってから、HTMLの勉強やコンセプトワーク、Webデザインなどに3か月くらい。実際にファイルを作り上げるのが1か月くらい。さらにそのあと1か月くらいは非公開状態で、いろいろ手を入れて直しましたね。大変だったのは、メニューをどういう構成にするかとか、ファイル構成をどう分類するか。あとはレイアウト的なことですね。紙メディアと違って、あまり好き勝手なデザインはできないので、なるべく見映えが良いものをいろいろ考えました。公開するまでは、「おかしなところがあったら教えて」と言っておいて、リンクがちゃんとなっていないところをチェックしてもらったりしました。

Q：HTMLエディターは何を使っていますか？

中里：PageSpinnerが使いやすいですよ。ダウンロードしてきて、いくつか使い比べてみたんですけど、PageSpinnerが一番使いやすいかったですね。

Q：ほとんど毎日更新しているようですから、大変ですね。

中里：投票のメールが毎日来るので、基本的に毎日アップするようにしています。「このページを見つけてうれしかった」というメールが来ると、やっぱりうれしいですね。私たちはSMAPをネタにしてみんなでしゃべれる場所があればいい程度だったんです。だから気軽に遊びに来てもらえるといいですね

松橋：みなさんに楽しんでもらって、ついでに自分たちも楽しませてもらっているという感じです。

Q：これからどんなことをやりたいですか？

中里：友達やっているSMAPのページ(慎吾 ワールド

「ミラクルパンチ」の由来はテレビ番組の中でSMAPが使っていた言葉。

URL <http://www2f.meshnet.or.jp/mpd/smap/>

ad.jp/fuji0405/)と合同で、SMAPのCMに話題を絞ったサイトを立ち上げる企画を進めています。内容は、CMの評価アンケートとか、SMAPにやって欲しいCMの企画提案とか、今までのCMの資料ファイルなんかです。CMというのはファンにとって、ドラマやバラエティとも違う顔のSMAPを見れるという点で楽しみなメディアなんです。そういうCMをどう受け止めているとか、せっかくSMAPを使うならこういうCMを見たいというファンの声をまとめてホームページで公開すれば、中立的な立場で企業にフィードバックできるんじゃないかなと思うところから考えたんです。SMAPファンだけじゃなくて、企業の方も見に来てほしいですね。

Q：このページはSMAPのメンバーも見てるんですか？

中里：メンバーはきっと見てないですよ。誰もインターネットやっていないですから。松橋：森君は、Macintosh使っていたけど、今はもう忙しくてやれないから。中里：慎吾君はIBMからAptivaをもらってるはずだから、そのうちやるかもしれないけど。

(取材・文/鈴木康之)

Research!

インターネット何でも調査隊が行く!

「インターネット何でも調査隊」は、ニュースなどでは解決できないインターネットについての素朴な疑問を、あなたに変わって調査します!

インターネットを教えてくれる 専門学校に行ってみよう!

最近、インターネットを授業のカリキュラムに取り入れる専門学校も増えてきた。今回はそうした専門学校の中でもインターネットをはじめとしたマルチメディア教育に積極的に取り組む、学校法人岩崎学園情報科学専門学校(横浜西口校)の門をくぐり、インターネット教育の授業を見せてもらった。



▲入学時に1人1台無償貸与されるノートパソコン。

学校法人岩崎学園情報科学専門学校(横浜西口校)には現在約660人が在籍している。校内には専用線が引かれ、教室にはコンピュータがズラリと並んでいて圧巻だ。また、校内には自分たちで組み立てたコンピュータを使ってネットワークシステムなどの研究を行っている「ラボ」と呼ばれている研究室などもある。このような充実した設備は大学にも引けを取らないのではないだろうか。

「自分の課題を、マシンに触れ体験の中から

実感させたいので、設備の充実には特に力を入れていきます」(杉本先生)

教室に潜入

コミュニケーションシステム科2年生のホームページ作成実習授業にお邪魔した。ここはマルチメディアに精通した新しいタイプの技術者を育成する3年制の学科で、時間割には「言語理論」や「ネットワーク運用」などの何やら難しそうなる科目が並んでいる。教室では、各自がデザインした複雑なグラフィックを、マウスとキーボードで楽々と料理していく。授業の合間に将来の夢について話を聞いた。

「将来は公務員になりたい」、「まだコンピュータが導入されていない分野でコンピュータを役立てたい」など、インターネット業界にこだわらず、コンピュータやネットワークの可能性を幅広い分野で役立てたいと、なかなか積極的だ。



▲コミュニケーションシステム科2年生のホームページ作成実習。



▲「かながわマルチメディアサロン」を使った授業。

同校には、マルチメディア産業を育成するために神奈川県と地元企業が開設する「かながわマルチメディアサロン」もあり、専用線で接続されたコンピュータを広く一般に開放している。

「このような自治体と企業が一体となった取り組みに、私たちのような教育機関がお手伝いすることが多くなってきましたね」(伊豆原先生)

校内を歩いてみて、以外に女生徒の姿が多いのに驚いた。帰り際、「センセーイ」なんて言いながら職員室に駆け込む女生徒の姿を見て、数年前に卒業した学生時代を思い出した。(F)



▲左から水谷先生、杉本先生、伊豆原先生。

問い合わせ

学校法人岩崎学園 情報科学専門学校(横浜西口校)
TEL 045-311-5562(代)

URL <http://www.iwasaki.ac.jp/>

バーチャルたんぼの米で作った 日本酒「たんぼう」届く



酒造りの工程が読めるページ

URL <http://www.iip.co.jp/denno/>

4月号の締切りに入ろうとしている1月27日の午後、6本の日本酒が編集部へ届きました。お酒の名前は「たんぼう」。淡いブルーのびんに巻かれたラベルには、昨年の9月号から今年の2月号にわたって紹介した「バーチャルたんぼ」のURLと参加した22グループの名前が刷り込まれていました。

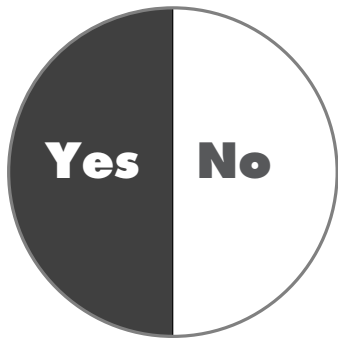
このお酒は、そのバーチャルたんぼでとれた

お米「ひのひかり」を酒造米として、兵庫県の小西酒造で作られたものだそうです。ひのひかりの玄米を精白して洗い、麹を仕込んでお酒ができるまでの工程はインターネットで中継され、現在でもホームページで読むことができます。

新米でできた吟醸生酒は口当たりがさっぱりとして飲みやすく、においにつられて集まった編集スタッフの胃の中にあれよあれよという間に消えていきました。残念ながら、今年はバーチャルたんぼはありませんが、このお酒とお米の味はなかなか忘れられません。参加者の皆さん、お疲れさまでした。(N)

Thinking!

インターネットマガジン世論調査



現在実施中!

中学生、高校生は当たり前? 学校の「制服」着用義務に あなたは賛成ですか?

インターネットマガジンのWWWサーバーでは、社会のさまざまな問題や現象について、インターネットを利用して意見を募る「世論調査」のコーナーを設けています。現在実施しているのは制服は是か非か。

*

現在、公立中学と公立高校の90%以上が制服の着用を生徒に義務づけており、自由な服装での登校を認めていません。その主流は、女性はセーラー服やブレザーに短い

スカート、男性はブレザーや昔ながらの黒の詰め襟スタイルです。「ルーズソックス」は女子高生の流行ファッションとして昨年度多くマスコミで取り上げられましたが、もとはといえば、「白いソックス」も校則で義務づけられているもの。制服の1つといえるかもしれません。

このように、制服の存在は日本人にとってあまりに大きく、そのメリットとデメリットは当事者の学生、学校側、父兄の間で長く議論されてきました。一度制服を廃して自由にしたものの、PTAの意見から再び制服を導入したという三重県の高校のエピソードもあります。

URL <http://home.impress.co.jp/magazine/inetmag/yes-no/>

「学校の制服の是非」について。現在学生の人はもちろん、昔学生だった人も、一度は考えたことがある問題ではないでしょうか。3月の卒業のシーズンにちなんで、この定番のテーマを世論調査で取り上げてみたいと思います。

詳しくはWWWサーバーをご覧ください。結果は次号以降に発表します。

次のテーマ 募集中

このほかにも、世論調査で取り上げてほしいテーマを募集しています。採用分には、ダイレクトプラスを発行します。

宛先はip-box@impress.co.jp

My Home Page

自薦ホームページPRコーナー

オリジナルのお酒も造れる

URL <http://www.sanmedia.or.jp/okimura/>

鳥取県西部は本当に水がおいしいところです。古来より「水の美味しい処に美酒あり」と言われています。そうした鳥取県西部の旧国名「伯耆の国」の銘酒を紹介するホームページを作成しました。お酒好きな方、鳥取県がどこかわからない人は、ぜひ一度のぞいてみてください。

(岐村悟)



大学生のインターネットサークル

URL <http://pweb.ar.aix.or.jp/kenjiohta/>

大学生のインターネットサークル「Netsurf Club」は、大学生ネットサーファーの親睦団体です。サイバースペースでのコミュニケーションに限定することで、時間や空間の壁を乗り越えた活動をしています。北海道から沖縄そして海外に広がる会員総数は500名強。ますます躍進します。

(太駄健司)



スポーツカーファンは集合!

URL <http://www.alphatec.or.jp/nismo-r/>

SKYLINE GT-R Web Site「GT-R PADDOCK」は、スカイラインGT-Rを中心に、オーナーの方もそうでない方でも楽しんでいただけます。GT-Rに関する情報はもちろん、GT-Rに限らず全車種別に分けられたデータファイルでは、皆さんのチューニング情報と、各パーツのレポ-

トも掲載しています。ただ今メンバー登録を受け付けているので、GT-Rが好きな方、チューニングに興味のある方は一度のぞいてみてください。

(400R)



「西国三十三カ所巡礼」記もある

URL <http://www.2g.meshnet.or.jp/y-maki/>

大阪府河内長野市の紹介と「西国三十三カ所霊場」を自分で実際に参詣した情報を元に紹介しています。現在のインターネット利用者は若い方が多いですが、これから日本も高齢化社会を迎えます。こんな一見ミスマッチなページがあってもいいのではないかと思っ立上げました。

(牧川幸弘)



WANTED!

アクセス増加は必至! 自慢の自作ホームページをこのコーナーで紹介してみませんか? ホームページのURLに紹介文を添えて ip-box@impress.co.jpまでご一報を! 投稿文にはダイレクトプラスを発行します。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp